

# 若く新鮮な心を持ち続け 様々な角度から地域との交流を図る



住職 三宅 明信 / ゲスト 具志堅 用高

浄土宗 林鐘院

福岡県筑後市北長田 706-2

TEL 0942-52-5524 FAX 0942-54-1189

浄土宗 浄業寺

熊本県荒尾市宮内出目 533

TEL / FAX 0968-62-2120

FAX 0968-62-2134

E-mail: miyake@kurume.ktarn.or.jp  
URL: <http://www2.ktarn.or.jp/~miyake>

ソフト開発会社代表、地元子ども会のベテランリーダー、地域の便利屋さん、熱いバイクライダー、そしてお寺のお坊さん——。好奇心とバイタリティに満ち溢れ、ただ1度の人生を心から謳歌している『林鐘院』の三宅住職。そのユニークな素顔に、本日、元世界Jフライ級チャンピオンの具志堅用高氏が鋭く迫った。

★★★

具志堅 まずは三宅住職の歩みから。ご出身はこちらになるのですか。

三宅 生まれは熊本県天草郡です。農家に生まれた父が仏門に入ったため、中1の時にこちらに移りました。私は4人兄弟の末っ子で後を継ぐ気などなく、子どもの頃は電気屋になるのが夢だったんですよ。小4の時にラジオ関係の通信教育を受け、その1年後には真空管式のテレビを修理していました。ところが次々に兄たちが後を継ぐと言出し、末っ子の私にお鉢が回ってきたのです(笑)。本山である知恩院で2年、その後2年の修

行を加え、昭和54年に父から『林鐘院』を引き継ぎました。『浄業寺』を引き受けたのはそれから9年後のことです。

具志堅 電気屋になりたかったという子どもの頃の夢が、こちら『ネットバンク筑後』として結実しているのですね。

三宅 ええ。「かつての夢忘れがたし」との思いで、寺務に余裕が出てきた頃からパソコンに手を伸ばし始めたんです(笑)。

ある調査によれば、九州で2番目にパソコンを手作りしたのが私なんだそうですよ。具体的な内容としては某電気メーカーと提携し、小学校のパソコン授業向けのソフト開発を行っています。全くの趣味の延長で、最初は個人経営だったのですが、助言を戴いて平成6年に会社組織としたのです。檀家さんの方も当社のことはご存じで、毎月1度の檀家回りの後には「パソコンを修理して」「洗濯機もお願い」とお声がかかるのですよ(笑)。

具志堅 それではまるで便利屋さん(笑)。地域に色々な意味で安心感を与えておら



【Myoshin Miyake】

熊本県天草郡出身。中学1年の時に『林鐘院』に移る。高校1年で地域の子ども会の指導者を任せられ、今もおライフワークとして活躍中。昭和54年に『林鐘院』を、63年に『浄業寺』の住職に就任。趣味を実益に変えたソフト開発会社『有限会社ネットバンク筑後』の代表でもある。

筑後市子ども会連絡協議会会長・筑後市青少年育成市民会議理事・福岡県青少年育成運動推進指導員・浄土宗児童教化連盟理事・福岡県子ども会連絡協議会監事・浄土宗常任布教師

れる存在なのでしょうね。他にも教育面で地域に貢献されていると伺いましたが。

三宅 ええ。地域の子どもの指導者として、中3までの子どもを対象にキャンプなどのレクリエーションを毎月催しています。最近は青少年の非行が問題とされていますが、実際、「ありがとう」「ごめんなさい」といった挨拶1つもできない子が非常に多い。相手への思いやりであると共に仲を深める糸口である挨拶を、しっかりできる子に育ててほしいですね。

具志堅 お話も尽きませんが、最後にこれからの抱負を一言お願いします。

三宅 パソコンやバイクなどに凝っているせいか、仏門では異端児と見なされている私(笑)。ですが一般の人々の助けとなるためには、寺に留まらぬ幅広い視野を持つことが大切です。今後年を重ねても若く新鮮な心を持ち続け、様々なことに意欲的に挑戦していきたいですね。

具志堅 枠にとらわれぬご活動を、これからも期待しています。本日はお忙しいところ誠にありがとうございました。

(2001年4月取材)

